



# 角 笛 会 会 報

ホームページ: <http://www.tsunobue.org/>

発行所

日本大学生物資源科学部  
校友会 角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野1866

0466-84-3633



## 巻頭のご挨拶

角笛会会長 鳥海 弘 (昭和50年卒)

法人日本獣医師会理事を拝命しております。角笛会では故・日比野二郎会長、中川秀樹前会長の下で副会長を務めて参りました。長く会長を務めていただきました中川秀樹前会長が総会をもってご勇退されました。中川会長には7期14年の間角笛会の組織改革にご尽力をいただきました新しい角笛会の基礎を作っていただきました。その功績に対し、総会において中川秀樹氏を名誉会員及び顧問に推薦する議案が承認されました。総会では新役員として副会長に渋谷久教授、幅田功(昭和45年卒・都内開業)氏、井上亮一(昭和50年卒・公益社団法人横浜市獣医師会会長)氏の3名が、また監事に直井昌之(昭和59年卒)氏、佐藤雪太教授が選任されました。角笛会を運営する常任幹事も約半数近くの6名が交代されました。事務局長は引き続き鯉江洋教授に、事務局を岡林堅専任講師、齋藤光芳専任講師にお願いすることになりました。

今年度の総会も日本大学獣医学会との合同で開催され多くの校友が参加されました。総会終了後は懇親会が開催されましたが今年は日大アメフト部問題の影響で学部執行部の出席が全くなかったことが残念であり、例年に比べ寂しい懇親会でありました。しかし数年前から始まった将来を担う学生諸君が大勢参加してくれたのは何よりでした。一昨年から始まった動物病院の求人(就職)説明会には多くの病院が出展され参加した学生諸君も熱心に聞き及んでいました。

本年度も総会にて承認をいただいた事業計画に基づいて各種事業や準会員を支援する事業を執り行ってゆきます。角笛会は通常事業の他に日本大学獣医学会や ANMEC との連携・支援をして学術の発展にも寄与しており幅広い活動をしております。平成30年度の ANMEC 研究助成金は総会において関口尚希氏に授与されました。

また毎年会報を発刊しており大学の近況、全国の校友の動向、クラス会等の情報を皆様に発信しております。会員からの情報や要望は HP を通してお寄せいただくことで更に組織が充実致します。

第17回日本大学医療系同窓・校友学術講演会が9月29日(土)午後、日本大会館において、今年度は医学部同窓会の担当にて開催されました。本年度の共通テーマは「再生医療」で、枝村一弥准教授(平成11年卒・獣医外科学研究室)に「獣医療における再生医療の最新知見と将来展望」(座長:森友忠昭教授)と題してご講演をいただきました。総合大学である本学の医療系の同窓が集まり共通のテーマを追求することは非常に素晴らしいことです。

平成31年2月8日(金)から10日(日)にかけて日本獣医師会獣医学術年学会次大会が新横浜プリンスホテルを会場に開催されます。その初日の2月8日の18:30~隣接するグレイスホテル4F「サフィア」にて日本大学角笛会の交流会・懇談会が開催されます。例年日本獣医師会獣医学術年次大会に合わせ全国から多くの校友にご参加をいただいておりますので今回も是非ご参加され校友との交流を深めていただきたいと思います。

本学獣医学科の卒業生は誰もが角笛会会員ですが、今現在、角笛会で活動されていない卒業生の皆様には世代を越えて校友と触れ合い、社会貢献する活動や次世代を担う在校生との交流を共に致しませんか。本学の獣医学科から獣医学部への移行のためにも、特に若い世代の卒業生が角笛会の一員として活動され組織の活性化を図っていただくことをお願いすると共に心よりお待ちしております。



## ご 挨拶

獣医学科主任 森友忠昭 (昭和61年卒)

学科主任の森友です。会長の鳥海先生を始め角笛会の先生方には、日頃より獣医学科の学生教育・研究活動にご支援とご協力を賜り、誠にありがたく存じております。学科教員を代表して厚くお礼を申し上げます。

当獣医学科は、本年3月に122名の卒業生を送り出しました。そのうちの119名が獣医師国家試験に臨み、

116名が合格し、合格率は97.5%でした。本年も多くの獣医師を社会に送り出し、新卒業生は既にそれぞれの就職先で活躍を始めております。また、4月には136(男55、女81)名の新入生を迎え、現在の在籍者数は816(男333、女485)名となり、昨年に比べ女子学生の比率が少し高くなりました。

次に人事関連ですが、今年3月に獣医内科学研究室・専任講師の滝山直昭先生と学科事務室・実習助手の都築亜美さんが退職されました。そして4月には、獣医薬理学研究室に山崎純先生が教授として、また、獣医内科学研究室に岡西広樹先生が専任講師として新たに赴任されました。また、附属家畜病院の実習助手であった田崎成美さんが学科事務室に異動され、森田真衣さんが学科事務室に新たに赴任されました。昇格者としては、壁谷英則先生が獣医食品衛生学研究室の教授に、獣医解剖学研究室の安井禎先生が准教授に、獣医伝染病学研究室の小熊圭祐先生が准教授に、獣医

公衆衛生学研究室の佐藤真伍先生が専任講師にそれぞれ昇格されました。また、産業動物臨床学研究室の大野真美子先生が助教として、獣医微生物学研究室の木庭獺達先生が助手として再任されました。

近年、獣医学教育をめぐる環境はめまぐるしく変化しております。平成26年から全国の獣医大学で“獣医コアカリキュラム”が導入されましたが、これにより獣医学教育科目は、従来18科目であったものが、51科目（19実習科目）と、臨床科目を中心に細分化され、さらに新規科目も増えました。また、今年度からはすべての5年生が病院実習を行うという参加型臨床実習も始まりました。そのため本学でも、これら新規科目や参加型臨床実習に対応した研究室・附属家畜病院体制の強化を進めています。さらに、昨年より“新獣医コアカリキュラム”の制定についての議論が、全国獣医系大学協議会の場で行われています。カリキュラムの変更は大学の運営に直結しますので、今後の動向を注視しています。このような中、今年度、当獣医学科は大学基準協会による獣医学教育評価を受審しております。大学基準協会による外部評価は各獣医系大学が7年に一度、受審するものです。本評価により、当学科の不足しているところなどを、客観的に指摘してもらい、改善の役に立てたいと存じております。また、一部の国立大学や私立大学では、ヨーロッパ獣医系大学協会（EAEVE）の基準に適合した教育評価を受審する動きを示しています。本基準の遂行には、別次元の高い要求がなされますが、国際化の中、本学もさらなる変革が迫られる時期も近いと思われれます。

生物資源科学部においては、受験者数が暫減する中、“今後とも選ばれ続けられる大学として、既存の学科の枠組みを越えた改革が必要”との方針が、大矢学部長より示されました。今後、獣医学科としても学部改革に積極的に関与することはもちろんですが、“資格取得を目的とした6年生教育を行う学科”としての立場も理解していただかねばと思っております。

今回は、大学や獣医学教育の近況についてご紹介を致しましたが、何事においても、当獣医学科の教員だけで成し遂げることはできません。角笛会の先生方との交流を深め、折に触れご意見を頂戴し、それを生かしながら教員一丸となって、よりよい教育・研究の環境作りを推進致したいと思います。

角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

## 平成30年度角笛会総会・第56回日本大学獣医学会開催

事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

平成30年6月30日（土）、日本大学生物資源科学部1号館121講義室において平成30年度角笛会総会および第56回日本大学獣医学会が開催されました。日本大学獣医学会は渋谷久担当学会長のもと、10題の一般講演と獣医学科教員5名（近藤広孝先生、亘敏広先生、丸山治彦先生、中山智宏先生、浅野和之先生）による教育講演「犬と猫の腫瘍への挑戦」が行われました。会員55名、学生・ANMEC研修医55名、その他8名と計118名が参加し、内容の充実した学会となりました。

角笛会総会では中川秀樹会長（昭和40年卒）から挨拶があり、遠矢幸伸議長の進行で審議が行われました。総会に先立ち、諸先生方のご計報に際し、黙祷が行われました。平成29年度事業活動および会計収支報告、平成30年度事業活動および予算案が審議され、満場一致で承認されました。角笛会の発展に貢献した角笛会功労者として、高浦芳一氏（千葉県）、鍋谷政広氏（新潟県）、梶原昌一氏（岡山県）、竹内潔氏（高知県）の4名に賞状と記念品が授与されました。ANMEC研究助成金は、関口尚希氏（研究課題：犬の脊髄損傷症例に対する鼻粘膜由来嗅神経幹細胞移植による有用性と安全性の検討）が授賞しました。また役員改選があり、烏海弘氏（昭和50年卒）が会長として承認されました。総会后、食堂棟3階にて開催された情報交換会には、他学科同僚校友会来賓、角笛会校友、大学教員、学部生（準会員）など多数の参加者が集りました。森友忠昭獣医学科主任（昭和61年卒）の乾杯の音頭で開幕し、にぎやかに談笑するうちに時間が流れ、盛会裏に終了しました。



日本大学獣医学会の様子



角笛会功労表彰：梶原昌一先生

### 【第56回日本大学獣医学会プログラム】

会 長：亘 敏広（獣医内科学研究室）  
担当学会長：渋谷 久（獣医病理学研究室）

教育講演：犬と猫の腫瘍への挑戦

座長：山田武喜（亀戸動物病院）

- 1. 「病理診断が下せない時。では、どうする？」  
近藤広孝（獣医病理学）
- 2. 「犬と猫のリンパ腫に対する化学療法の実際」  
亘 敏広（獣医内科学）

3. 「見逃すな！腫瘍に伴う止血凝固異常症」

丸山治彦（獣医臨床病理学）

4. 「あらためて放射線治療の有効性を考える」

中山智宏（獣医放射線学）

5. 「腫瘍外科の限界に挑戦する」

浅野和之（獣医外科学）

一般講演(口頭発表)

座長 山崎純(獣医薬理学研究室)

- 1. イヌメラノーマ細胞におけるホルボールエステルによるシクロオキシゲナーゼ2発現
○杉村真奈、中野令、久慈愛、八竹直哉、難波信一、北中菜葉子、今野忠好、北中卓、高橋朋子、中山智宏、杉谷博士
2. グルコサミン塩酸塩によるイヌメラノーマ細胞の増殖抑制
○八竹直哉、中野令、久慈愛、杉村真奈、難波信一、今野忠好、北中菜葉子、北中卓、高橋朋子、中山智宏、杉谷博士
3. イヌメラノーマ細胞はアルカリ環境下で細胞死が誘導される
○久慈愛、中野令、杉村真奈、八竹直哉、難波信一、北中菜葉子、今野忠好、北中卓、高橋朋子、中山智宏、杉谷博士
座長 小熊圭祐(獣医伝染病学研究室)
4. イヌ脱分化脂肪細胞の脳タイプ JNK を介した GABA 作動性ニューロンへのリプログラミング
○中野令、難波信一、北中菜葉子、北中卓、澁川義幸、加野浩一郎、松本太郎、杉谷博士
5. 病原因子としてのカリシウイルスプロテアーゼに関する研究
○関口佳、木庭獵達、植村幸希菜、二村あすか、弓桁洋、遠矢幸伸

- 座長 壁谷英則(獣医食品衛生学研究室)
6. 境川水系ヨシノボリ類への長良ミクソボルス Myxobolus nagaraensis 寄生例
○日置尚之、来栖可奈、島瑞穂、増田絢、松本淳
7. イノシシの舌に寄生する毛細線虫の病理学的検索と疫学調査
○後藤美穂、奈良崎孝一郎、近藤広孝、亀山楓、増田絢、松本淳、渋谷久
座長 大滝忠利(獣医臨床繁殖学研究室)
8. 分娩による子牛の肋骨骨折の実態調査
○杉田智子、大野真美子、石川智恵子、照井治子、石山大、堀北哲也、住吉俊亮
座長 高橋朋子(獣医放射線学研究室)
9. CT 検査により診断した門脈血栓症の犬11例
○佐藤慶太、坂井学、阪本裕美、石川智恵子、亘敏広、中山智宏
10. 犬の変形性関節症の診断マーカーとしての CTX-II の有用性
○山崎敦史、枝村一弥、種子島貢司、柄裕磨、関真美子、浅野和之

総会資料

平成29年度 一般会計収支決算報告書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes rows for 本部会費, 準会員費, 学部校友会報送料, 雑収入, 前年度繰越額, and 収入合計(A).

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes rows for 経常費, 会費, 交際費, 旅費交通費, 通信運搬費, 事務局運営費, 会報費, 名簿管理費, 準会員支援費, 褒賞費, 学会補助費, 補助費, 組織拡充費, 特別会計I, 特別会計II, 特別会計III, 予備費, and 支出合計(B).

平成29年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 1,480,450円

平成29年度 懇親会費収支報告書

Table with 3 columns: 科目, 金額, 備考. Includes rows for 懇親会参加費, 準会員参加費, 収入合計, 支出合計, and 懇親会費.

平成29年度 特別会計I 収支決算報告書【名簿会計】 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes rows for 名簿作成繰入金, 雑収入, 前年度繰越額, 収入合計(A), 支出合計(B), and 支出合計(B).

平成29年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 2,748,921円

平成29年度 特別会計II 収支決算報告書【将来事業資金】 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes rows for 将来事業繰入金, ANMEC 研究助成金, 雑収入, 繰越額, 収入合計(A), 将来事業積立金, ANMEC 研究助成金, 110周年記念事業費, 予備費, 支出合計(B).

平成29年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 1,255,945円

平成29年度 特別会計III 収支決算報告書【支援基金】 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Includes rows for 角笛会学生支援基金, 雑収入, 繰越額, 収入合計(A), 角笛会学生支援基金, and 支出合計(B).

(備考: 特別会計IIIの雑収入は特別会計IIの雑収入内に含まれる。)
平成29年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 1,600,000円

総会資料

平成30年度 一般会計予算 (案)  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 本部会費, 準会員費, 学部校友会報送料, 雑収入, 前年度繰越額, and 収入合計.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 経常費, 会合費, 交際費, 旅費交通費, 通信運搬費, 事務局運営費, 会報費, 名簿管理費, 準会員支援費, 褒賞費, 学会補助費, 医療系校友会補助費, 組織拡充費, 特別会計I, 特別会計II, 特別会計III, 予備費, and 支出合計.

平成30年度 特別会計I 予算【名簿会計】(案)  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 名簿作成繰入金, 雑収入, 繰越額, and 収入予算合計.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 名簿作成積立金, 新ホームページ作成費, 雑支出, and 支出予算合計.

平成30年度 特別会計II 予算【将来事業資金】(案)  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 将来事業積立金, ANMEC 研究助成金, 雑収入, 繰越額, and 収入予算合計.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 将来事業積立金, ANMEC 研究助成金, 110周年記念事業費, 予備費, and 支出合計.

平成30年度 特別会計III 予算【支援基金】(案)  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 角笛学生会支援基金, 雑収入, 繰越額, and 収入予算合計.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 角笛学生会支援基金 and 支出合計.

(備考：特別会計IIIの雑収入は特別会計IIの雑収入内に含まれる。)

平成30年度角笛会主催 動物病院就職説明会の開催 事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

平成30年6月30日(土)(平成30年度日本大学獣医学会・角笛会合同大会と同日)、獣医学科学生(準会員)のための動物病院就職説明会が開催されました。趣旨・目的に賛同し参加した動物病院40施設による個別相談ブースと久野知氏((株)HIPPOS:



久野知氏による特別講演

平成20年卒)による特別講演で構成され、学生162名(延べ人数)が参加しました。就職活動だけでなく低学年の動物病院見学や実習などさまざまな情報交換が行われ、動物病院、学生の双方から有意義なイベントとなったと好評を得ました。



動物病院就職説明会の様子

## スポーツフェスタ2018

1年次担任 堀北 哲也、丸山 治彦(平成13年卒)

平成30年5月19日(土曜日)、学部新生によるスポーツフェスタが開催されました。開催前の天気予報では雨も心配されておりましたが、当日は天候に恵まれ本学生物資源科学部グラウンドにて実施することができました。今年度も角笛会の後援をいただき、獣医学科学の学生達により考案されたデザインが印刷された獣医学科オリジナルTシャツを着用して競技に挑みました。この学科オリジナルTシャツは、黒色の生地で背面には鷹が羽を広げたシルエットが白色で大きくプリントされたものでした。競技の総合成績は全12学科中11位と昨年度の7位から順位を下げてしまいました。しかし、競技者も応援者もこのTシャツを身にまとい一致団結することができ、とても実りのあるスポーツフェスタとなりました。



## 動物病院だより

動物病院長 中山 智 宏

平素より日本大学動物病院(ANMEC)の運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、今年度の人事から動物病院の近況をご報告いたします。本年4月に岡西広樹(平成17年3月に本学獣医学科卒業、平成26年3月に本学大学院で学位取得)が獣医内科学研究室に専任講師として赴任しました。一方で、平成30年3月をもちまして、大場茂夫(獣医歯科学研究室、特任教授、歯科担当)が任期満了により、そして、滝山直昭(獣医内科学研究室専任講師、眼科担当)が退職しました。2人の教員の退職にともない大変に残念ながら当院の歯科および眼科診療科が一時休止となっています。

留学した2名の教員が帰国し、4月から診療に復帰しましたのでお知らせいたします。高橋朋子(獣医放射線学研究室専任講師、放射線腫瘍・腫瘍科担当)は米国コロラド州立大学で、そして伊藤大介(獣医神経学研究室専任講師、神経科担当)は英国ブリストル大学で、それぞれ1年間の留学をしました。2名の教員が新しい獣医学の知識と技能を導入し、そして海外留学を通じた豊富な経験により、当院での教育および診療におよび発展に貢献することを期待しているところです。

有給研修医につきましては、今年度5名の獣医師を採用しました。そのうち1名は産業動物診療部門で初となる研修医採用です。その結果、4年目までの全有給研修医数は27名となりました。これは他の多くの獣医科大学附属動物病院と比較して、かなり多い人数であり、当院の動物診療における大きな支えとなっています。今後も充実した魅力ある研修医制度を整え、より多くの優秀な獣医師を社会に提供できるよう努めていきたいと考えています。

次にメディアに目を向けますと、テレビ朝日で10月12日にスタート(23時15分～)する金曜ナイトドラマ「僕とシッポと神楽坂」(主演 相葉雅紀)のロケ地として本学動物病院が使用されました。本学動物病院の施設が放映される日は第2話と7話の放映日ですので、ぜひ、ご視聴下さい。

総合参加型臨床実習が今年度より開始されました。本実習の概要は、これまで見学のみであった病院内での実習に代わり、診療支援として学生が患者動物に触れ、また飼い主さんから問診をする機会を与えるものです。この実習を履修するにあたり、学生は5年生前期に共用試験に合格した上で、獣医学支援機構から「Student Doctor」として認定されることが求められています。そして、この実習を円滑に進めるためには、飼い主からの理解が重要かつ不可欠であることから、飼い主と良好なコミュニケーションを図ることに努めていきたいと考えております。また、充実した本実習を実現するためには、当然のことながら多くの診療症例数が必要です。どうか、開業獣医師の先生方におかれましては、教育研究機関としての当院の位置づけにご理解をいただき、引き続き症例のご紹介をお願い申し上げます。

動物病院では皆様の見学を歓迎しています。会等でお近くにお越しの際には、是非、ご連絡下さい。

## 動物医科学研究センターセミナー開催報告

## 動物医科学研究センターセミナー開催(第131回～第139回)

## 第131回 (H30.12.19開催)

演題:「幼虫移行症:トキソカラ幼虫の移行動態と感染力」  
平健介先生(麻布大学獣医学部寄生虫学研究室)

## 第132回 (H30.1.9開催)

演題:「～野生動物問題と獣医学～保護から管理へ、  
研究成果を現場問題に役立てる」  
森光由樹先生(兵庫県立大学/兵庫県森林動物研究センター)

## 第133回 (H30.2.13開催)

演題:「ヨーネ病清浄化への取り組み」  
永田礼子先生(動物衛生研究所細菌・寄生虫研究領域)

## 第134回 (H30.5.15開催)

演題:「細菌から見るイルカの健康管理と疾病予防  
-イルカを次の世代へ-」  
瀬川太雄先生  
(三重大学大学院生物資源学研究科附属鯨類研究センター)

## 第135回 (H30.6.12開催)

演題:「アルツハイマー病研究の現状と課題」  
細野崇先生  
(日本大学生物資源科学部生命化学科栄養生理化学研究室)

## 第136回 (H30.7.10開催)

演題:「サルベータレトロウイルスによるニホンザル血小板減少症」  
宮沢孝幸先生  
(京都大学ウイルス・再生医科学研究所ウイルス共進化分野)

## 第137回 (H30.9.18開催)

演題:「インフルエンザウイルスの宿主への適応戦略」  
渡辺登喜子先生(東京大学医科学研究所感染・免疫部門)

## 第138回 (H30.10.9開催)

演題:「国立環境研究所が推進する感染症の生態学研究  
～カエルツボカビからマダニ媒介感染症まで～」  
五箇公一先生  
(国立環境研究所生物・生態系環境研究センター)

## 第139回 (H30.11.13開催)

演題:「最近の豚丹毒に関する研究の紹介(仮)」  
下地善弘先生  
(農研機構動物衛生研究部門細菌・寄生虫研究領域)

## 獣医学科の近況

## 【獣医師国家試験】

第69回獣医師国家試験が平成30年2月14日、2月15日にTOC有明4階にて行われました。日本大学獣医学科から119名が受験し、116名が合格しました。合格率は97.5%(全国平均96.9%)でした。

## 【表彰、受賞】

平成29年度の卒業生のうち優等賞が工藤健仁さん、学部長賞が臼井陽菜さん、羽生航さん、日本獣医師会長賞が川上海良さん、角笛会長賞が窪田文さん、岸野友祐さん、角笛会特別賞が坂川達哉さんにそれぞれ授与されました。また、校友から、吉川聡一さん(東京都健康安全研究センター:平成21年卒)、原智之さん(新潟県長岡食肉衛生検査センター:平成12年卒)、教員から鈴木由紀先生(獣医衛生学研究室)が学部長賞を授与されました。

## 【博士(獣医学)の学位取得者】

平成29年度 課程博士:難波信一氏

## 【退職】

大場茂夫特任教授(獣医歯科学研究室)、佐藤常男特任教授(獣医病理学研究室)、中西照幸特任教授(魚病学研究室/比較免疫学研究室)、滝山直昭専任講師(獣医内科学研究室)、都築亜美実習助手(学科事務室)が退職されました。

## 【人事・昇格】

壁谷英則先生(新設:獣医食品衛生学研究室)が教授に、安井禎先生(獣医解剖学研究室)、小熊圭祐先生(獣医伝染病学研究室)が准教授に、佐藤真伍先生(獣医公衆衛生学研究室)が専任講師に昇格されました。

## 【異動】

田崎成美実習助手が家畜病院から学科事務室に、新堀千里実習助手(学科事務室)と植松愛梨沙実習助手(家畜病院)が他学科に異動いたしました。

## 【新任】

本年4月に山崎純教授(獣医薬理学研究室)、岡西広樹専任講師(獣医内科学研究室)、森田真衣実習助手(学科事務室)が採用されました。

## ■ 新任の先生の自己紹介



(獣医薬理学研究室)  
山崎 純教授

角笛会の皆様には初めてご挨拶申し上げます。4月より獣医薬理学研究室の教授職を拝命いたしました山崎 純と申します。東京都葛飾区出身で、東京大学薬学部を卒業後、同大学院薬学系研究科修士・博士課程(薬学博士、1990)、教務職員・助手(1990～1998)を経て、米国ネバダ大医学部留学(1995～1998)、帰国後、福岡歯科大学助教授・准教授(1998～2009)、教授(2009～2018)、基礎部門長(兼任、2015～2018)として、教育・研究・管理運営に携わってきました。日本大学に着任してから約半年が経過し、取り巻く状況が少しずつ分かってまいりましたが、学部を問わずどの大学も抱えているような事柄もあれば、獣医学に特有な点もあるように思います。しかし、角笛会の諸先輩方、在学生たちの縦横の繋がりを拝見するにつけ、脈々と受け継がれる力強さとしなやかさを感じるところです。私自身は20年ぶりの関東での生活をスタートさせたこともあり、このような環境の中で、戸惑いながらも日々大いに触発されています。学生教育では、獣医学・医学に役立つ薬物学・薬物動態学ならびに周辺領域の主体的な学修を促し、研究では、細胞生理学的手法による上皮組織や癌細胞の機能解明を目指して参ります。至らぬ点が多いとは存じますが、日本大学獣医学科の発展のために微力ではありますが頑張る所存です。皆様からのご指導とご鞭撻を賜れば幸いに存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。



(獣医内科学研究室)  
岡西広樹専任講師

今年度より、本学獣医内科学研究室に専任講師として着任しました岡西広樹と申します。どうぞよろしくようお願い申し上げます。角笛会の会員の先生方におかれましては、在学中より多大なご支援を頂きましたこと、篤く御礼申し上げます。略歴を紹介させていただきますと、東京の都立高校を卒業後、1999年に本学獣医学科へ進学しました。学生時代は、獣医公衆衛生学研究室に所属し、丸山総一先生、壁谷英則先生、見上彪先生にご指導を賜り2005年に卒業後、日大動物病院(ANIMAL MEDICAL CENTER)の研修医として勤務し、2009年に修了しました。その後、1次診療に従事しながら研究生を経て、2010年に社会人大学院生として、本学大学院に進学しました。大学院では、総合臨床獣医学研究室にて、巨敏広先生のもとで、消化器疾患に関する研究を行い、2014年に博士号を取得いたしました。大学教員という職に不慣れなため、未だ戸惑いを感じておりますが、これまでに得た経験や知識を活かし、教育、臨床、研究に日々励んでいきたいと思っております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## ■ 平成30年度獣医学科入試状況

選抜方法選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
A方式(第1期)	42名	825名	108名	7.6倍
A方式(第2期)	15名	442名	37名	11.9倍
N方式第1期	3名	150名	4名	37.5倍
一般推薦(公募制)	学部全体で100名	63名	22名	2.9倍
一般推薦(公募制・関連産業後継者)	学部全体で26名	15名	6名	2.5倍
校友子女推薦(公募制)	学部全体で28名	8名	3名	2.7倍

## ■ 学年担任(平成30年度)

- 1年次 堀北哲也教授(獣医臨床繁殖学)、丸山治彦専任講師(獣医臨床病理学)、西村知良准教授(一般教養)
- 2年次 北川勝人教授(獣医神経病学)、小熊圭祐准教授(獣医伝染病学)
- 3年次 山谷吉樹教授(獣医麻酔・呼吸器学)、関真美子専任講師(獣医外科学)
- 4年次 五味浩司教授(獣医解剖学)、鈴木由紀専任講師(獣医衛生学)
- 5年次 渋谷久教授(獣医病理学)、高橋朋子専任講師(獣医放射線学)
- 6年次 巨敏広教授(獣医内科学)、大滝忠利准教授(獣医臨床繁殖学)

## トピックス

## 中川秀樹(前)会長が名誉会員および顧問に就任

事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

平成30年度角笛会総会において、会長として長く角笛会に貢献した中川秀樹氏が名誉会員および顧問として推薦され、満場一致で承認されました。



中川秀樹氏



鳥海(新)会長から感謝状を受け取る中川秀樹氏

## 第17回日本大学医療系同窓・校友学術講演会の開催

事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

第17回日本大学医療系同窓・校友学術講演会(医学部同窓会、歯学部同窓会、松戸歯学部同窓会、薬学部校友会、獣医学科校友会・角笛会)が平成30年9月29日(土)「再生医療」をテーマにシンポジウム形式で開催されました。第11回から共通テーマを設けており、講演後に開催する総合討論で自由な情報交換が行われました。今回は医学部が当番幹事で、日本大学学長大塚吉兵衛先生、医学部研究担当内山真先生にご臨席を賜り、来賓としてご挨拶を頂戴いたしました。角笛会の講演は、獣医外科学研究室の枝村一弥先生(平成11年卒)が「獣医学領域における再生医療の現状と臨床指針」と題して発表しました。枝村先生の講演を一番前の席で



講演する枝村先生

熱心にメモを取りながら聞いている大塚吉兵衛学長の姿がとても印象的でした。講演会後の懇親会は、学部を超えた懇親の輪が広がっておりました。日本大学医療系同窓・校友学術講演会は毎年9、10月頃開催し、日本大学医療系学部の校友が集う唯一の講演会です。また日本獣医師会の獣医師生涯研修プログラムの単位認定がありますので、角笛会会員以外の獣医師もお誘いの上、是非ご参加ください。



来賓挨拶をする大塚吉兵衛学長

講演会後の懇親会は、学部を超えた懇親の輪が広がっておりました。日本大学医療系同窓・校友学術講演会は毎年9、10月頃開催し、日本大学医療系学部の校友が集う唯一の講演会です。また日本獣医師会の獣医師生涯研修プログラムの単位認定がありますので、角笛会会員以外の獣医師もお誘いの上、是非ご参加ください。

## ◎第17回日本大学医療系同窓・校友学術講演会

日 時：平成30年9月29日(土) 13:30～

場 所：日本大学会館大講堂

## 司会・進行

秦 光賢(医学部同窓会渉外副担当理事・

日本大学医学部外科学系心臓血管外科学分野准教授)

## 開会の辞

梶原 優(当番学部挨拶医学部同窓会・会長)

## 来賓挨拶

大塚吉兵衛(日本大学学長)

医学部研究担当 内山 真

## 第一講演 日本大学歯学部同窓会

・歯科治療に用いられている再生医療

演者：藤川謙次(歯学部同窓会学術委員長)

座長：荒井法行(歯学部同窓会学術委員)

## 第二講演 日本大学松戸歯学部同窓会

・歯周組織再生治療の現状

演者：小方頼昌(松戸歯学部歯周治療学講座教授)

座長：小林平(松戸歯学部同窓会常任理事)

## 第三講演 日本大学生物資源科学部獣医学科校友会角笛会

・獣医学領域における再生医療の現状と臨床指針

演者：枝村一弥(生物資源科学部獣医外科学研究室准教授)

座長：森友忠昭(生物資源科学部比較免疫学研究室教授)

## 第四講演 日本大学薬学部校友会

・免疫チェックポイント阻害薬の開発

演者：大村直史(小野薬品工業株式会社九州・沖繩支店  
鹿児島営業所所長)

座長：岸川幸生(薬学部教授医療薬学研究室)

## 第五講演 日本大学医学部同窓会

・脱分化脂肪細胞を用いた再生医療

演者：松本太郎(医学部機能形態学系細胞再生・移植医学分野教授)

座長：平山晃康(医学部同窓会渉外担当理事・脳神経外科学系神経外科学分野教授)

## 総合討論

座長：平山晃康(医学部同窓会渉外担当理事・脳神経外科学系神経外科学分野教授)

## 閉会の辞

小幡純(次回当番学部 歯学部同窓会・会長)

## 懇親会

司会・進行：平山晃康(医学部同窓会渉外担当理事・脳神経外科学系神経外科学分野教授)

平成29年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

H29年6月10日(土)	桜水会懇親会	中川秀樹	11月24日(金)	山形県支部(天童市)	鯉江洋
7月8日(土)	学部校友会総会懇親会	学科教員	11月25日(土)	満喜葉会70周年(本部)	中川秀樹
7月16日(日)	北海道支部(札幌市)	枝村一弥	11月26日(日)	横浜市角笛会 開業部会(本部)	山谷吉樹
7月23日(日)	新潟県支部(新潟市)	鯉江洋	12月17日(日)	福島県支部(郡山市)	関真美子
8月19日(土)	東北北海道支部(釧路市)	津曲茂久	H30年1月10日(水)	東京角笛会	中川秀樹 森友忠昭
9月2日(土)	熊本県支部(熊本市)	丸山総一	1月20日(土)	沖縄角笛会(那覇市)	大滝忠利
9月15日(金)	鹿児島県支部(鹿児島市)	鯉江洋 岡林堅 齋藤光芳	1月20日(土)	福岡県支部(福岡市)	杉谷博士
10月14日(土)	岐阜県支部(岐阜市)	越後谷裕介	2月11日(日)	千葉県支部(千葉市)	渋谷久
10月28日(土)	宮崎県支部(宮崎市)	渋谷久 (台風のため派遣中止)	2月18日(日)	茨城県支部(水戸市)	津曲茂久
10月28日(土)	岩手県支部(盛岡市)	岡林堅	2月25日(日)	愛知県支部(名古屋市)	佐藤雪太
11月16日(木)	神奈川県支部(本部)	学科教員	2月25日(日)	群馬県支部(高崎市)	杉谷博士
			3月11日(日)	静岡県支部(静岡市)	幅田功

(敬称略)

平成30年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

平成30年度も昨年と同様に各支部へ教員を派遣しております(平成30年11月2日現在)。教員の派遣を希望される支部は事務局までご一報ください。

H30年6月2日(土)	いもづる会	中川秀樹	9月1日(土)	熊本県支部(熊本市)	津曲茂久
6月9日(土)	桜水会懇親会	中川秀樹	9月8日(土)	長野南信州支部(飯田市)	鯉江洋
7月14日(土)	学部校友会総会懇親会	鳥海弘、学科教員	9月15日(土)	京都支部(京都市)	齋藤光芳
7月21日(土)	富山県支部(富山市)	鎌田寛	10月7日(日)	埼玉県支部(さいたま市)	岡林堅
7月22日(日)	栃木県支部(宇都宮市)	山谷吉樹	10月14日(日)	岐阜支部(岐阜市)中止	鯉江洋
7月28日(土)	東北北海道支部(帯広市)	堀北哲也	10月21日(日)	横浜市開業部会(本部)	鯉江洋
8月5日(日)	北海道支部(札幌市)	鯉江洋	10月27日(土)	宮崎県支部(宮崎市)	岡林堅
8月5日(日)	高知県支部(高知市)	幅田功	10月28日(日)	福岡県支部(福岡市)	手島健次
8月19日(日)	大分県支部(大分市)	津曲茂久	11月8日(木)	神奈川県支部(本部)	学科教員

(敬称略)

角笛会関連記事(支部だより)

■岩手県支部だより

平成29年10月28日(土)、「三千里大通り店」にて開催。  
派遣教員：岡林 堅



■福島県支部だより

平成29年12月17日(日)、「郡山ワシントンホテル」にて開催。  
派遣教員：関真美子  
卒後ゼミナール「沈黙の臓器 膵臓を知る 膵臓腫瘍の治療」



■ 沖縄角笛会だより 今年度の歩み

沖縄角笛会では平成29年に、沖縄支部として初めて本部より鯉江事務局長をお招きし、日大および現在の獣医学制度の近況を伺ったのだが、研究室の名前も習得する教科名も初めて聞くものが数多くあった。会報の最後に掲載されている学科教員の先生方の名簿には、文献でしか拝見したことの無いお名前ばかりが並び、自分達とはまるでかけ離れた世界のような、そんな気もしていた。それでも本部から鯉江先生がいらっしゃるということで、数年前に卒業したばかりの新規会員が参加してくれた。私が事務局をしてから初めて自分より若い会員の参加でもあり、現時点で最も母校に太いパイプを持つのが彼なのである。そう考えると、新規会員の参加は非常に重要なのだと改めて思う。そんな彼に次年度の講師招聘の要望を聞くと、「臨床繁殖学研究室の大滝先生の講義が聞きたい」とのこと。産業動物臨床の道に進んだ彼にとって、学生時代に聞くのとはまた違う視点で講義を聞いてみたいという思いは十分に理解できた。

鯉江先生に要望を託したところ、早速大滝先生に掛け合っていただき、早々に快諾のお返事をいただいた。お会いしたことのない大学の先生とのやり取りはかなり緊張したものの、総会案内に大滝先生のお名前を掲載したところ、若手会員からはかなりの手応えがあり、平成30年度の総会参加者は、私を真ん中に先輩と後輩が半分ずつであった。4回目にしてこれはかなりの進歩である。大滝先生には角笛会本部の近況報告に引き続き、『乳牛の肝機能と繁殖の関連』と題してご講演いただいた。その内容たるや、産業動物臨床に携わっている先生方はもちろん、当時農業大学校で繁殖学を教えていた私にとっても非常に有意義な内容であり、翌週の講義では「今の最先端の研究ではこんなことしてるのよ!」と自慢げに話したものだ。総会後の懇親会では、それまで口数が多くなかった大滝先生も、お酒の量と共に緊張もほぐれた様子で、気さくに私共とお話してくださった。学会に講演を聞きに行くだけでは、こういう懇親の場は持てないであろう。

実はこの夏、家族サービスで上京することになり、8月の日大のオープンキャンパスに娘と行くことになった。おりしも次回の総会

に鎌田先生の講師派遣を要請していたところ、上京中に内定の報告をいただいたので、図々しくもご挨拶に伺うことにした。六会日大前駅

周辺の変貌に驚きながら、当時通った友人宅や飲食店をめぐり、大汗をかきながら学部説明会に参加、6号館では懐かしい解剖室を見学した。研究室の配置換えに右往左往しながら新9号館にたどり着くと、大滝先生を発見!すぐに先生からも声をかけていただいた。獣医学科体験コーナーにいらした大滝先生は、参加者一人一人に等身大の牛の模型を活用しながら、熱心に学科の説明をされていた。病院見学では、CT室内に ANMEC 新築記念事業 CT 寄贈・校友名一覧 (1995) が掲示されており、沖縄角笛会の皆様の名前も発見!! 現在はすでに機械自体は更新され、当時の機種ではなかったが、こんなところでも角笛会の皆様のつながりを感じることが出来てとても嬉しかった。諸先生方への突撃訪問は「沖縄角笛会事務局の翁長ですが……」を印籠のように多用して、見学コースではない研究室にまでご案内いただいた。初めてお会いする先生やスタッフの方も、非常に快く丁寧に対応していただいたことを、この場を借りて感謝申し上げたい。滞在中には思いがけず旧友や先輩にお会いしたり、お世話になった先生方にご挨拶する機会があり、当時と変わらない皆様や風景に懐かしさと嬉しさを



大滝先生と貝賀会長



日大近況報告



ANMEC新築記念事業CT寄贈・校友名一覧 (1995)



懇親会の様子



懇親会の様子

ひしひしと感ることが出来た。久しぶりの母校訪問で感じたのは、あちこちにアメリカンフットボールについての掲示があったり、新しい人や建物、取り組みがあったりするけれど、我々が学生のころから流れている日大の源流のようなものは変わらないのかもしれない、ということだった。

来年1月開催予定の沖縄角笛会総会には、多くの会員がお世話になった鎌田先生がいらっしゃる予定だ。貴重なご講演を沖縄角笛会の会員のみで受講するのは非常にもったいないので、他の支部の方もこれを機に来沖されてはどうか。鎌田先生には学術的なことはもちろん、日大の今と昔で変わったもの、変わらないものについてもお話しできればいいなと期待している。

### ■角笛会同窓会（大分）

平成30年2月10日（土）、「ホテル白菊」にて開催。

派遣教員：鳥海 弘、井上亮一、丸山総一、亘 敏広、浅野和之、鯉江 洋



### ■群馬県支部だより

平成30年2月25日（日）、「メトロポリタン高崎」にて開催。

派遣教員：杉谷博士



### ■静岡県支部だより

3月11日（日）、静岡グランドホテル中島屋に於いて母校角笛会常任幹事でセンターヴィル動物病院院長でもある幅田功博士をお迎えし、平成30年度の角笛会総会を開催いたしました。議案につきましては別添資料の原案どおり承認されましたが、会計について、繰り越しが多いことはあまり良いことではない、有意義な事業など実施できないか等、意見が出されました。



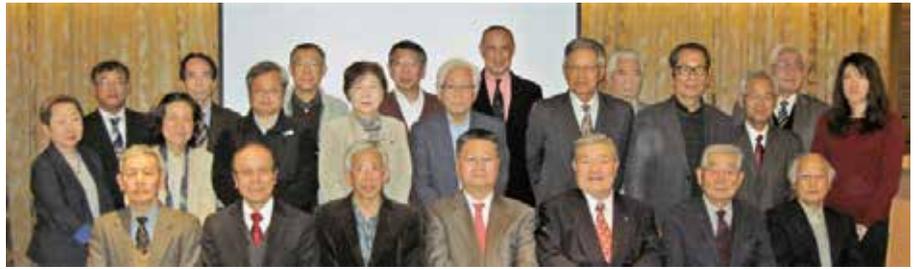
事務局からは、若い人たちの新規加入がほとんど無く会員数が80名を割り込み、組織の存続が懸念されることから新規会員の掘り起こしをお願いいたしました。新たな事業へも取り組みたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。



総会終了後、幅田先生から「獣医歯科学の基礎と応用」では、“飼

育されている犬や猫は歯がなくても生きていける”など、「そーなんだ」と思えるお話や、“猫の難治性口内炎は治癒させることができる”など、専門的で有意義な講義をお聞きすることができました。

講演会終了後、片野先生の乾杯で懇親会に移り、旧交を温め楽しいひと時を過ごしました。ここ数年、出席者は20名前後で固定した先生方の傾向にあります。来年は、是非同期や前後のお知り合いとお誘いあわせの上、参加をお願いいたします。



大庭芳和

E-mail : y.ohba2326@sea.plala.or.jp

■北海道支部だより

平成30年8月5日(日)、「札幌第一ホテル」にて開催。  
派遣教員：鯉江 洋



■南信州支部だより

平成30年9月8日(土)、「松楽」にて開催。  
派遣教員：鯉江 洋



■熊本県支部だより

平成30年9月1日(土)、「ホテルメルパルク熊本」にて開催。

来賓：別当公一様(日本大学校友会熊本県支部長)、穀本純二様(熊本県江古田会会長)

派遣教員：津曲茂久



■宮崎県支部だより

平成30年10月27日(日)、「和食の橘」にて開催。

派遣教員：岡林 堅



## 角笛会関連記事(同期会だより)

### ■平成29年進勇会開催報告

平成29年の進勇会(昭和45年卒)を地元幹事の耕崎・小倉両君のお世話で10月21日(日)に高知で開催いたしました。私は、三島から新幹線で、岡山から土讃線・瀬戸大橋経由で高知入りいたしました。

参加者は、常連の何名かが糖尿病や諸般の事情で欠席があり少し寂しかったのですが、安藤家お孫さんが彩りを添えてくれました。宴会は最も遠方の山形から参加してくれた新関君の乾杯で皿鉢料理を囲んでの楽しい一時を過ごしました。各自の近況報告も古希を迎え、様々に活躍している話を聞き励みになりました。二次会カラオケも素質なのか月謝を相当払っているのか玄人はだしの上手から、音程がずれるものまでバラエティに富み楽しめました。締めとして堀内君の音頭で恒例の「また逢う日まで」を熱唱してお開きといたしました。

平成30年は、本州の中頃で交通の便の良い所ということで、静岡県伊豆の国市「伊豆長岡温泉」で平成30年10月下旬に開催の予定です。



平成29年10月吉日 文責：大庭芳和・治美  
E-mail : y.ohba2326@sea.plala.or.jp



上段 幅田・新関・耕崎・土屋・幅田(慶)・大庭・大田・小倉  
中段 堀内・安藤・豊田・大庭(治)・小倉(妻)・耕崎(妻)  
下段 安藤(娘)・安藤(妻、孫) 河野

### 事務局よりお願い

「支部だより」「同期会だより」を充実させるため、総会・懇親会で撮影した写真と文章をお送りください。各支部の様子を写真付きで紹介させていただきます。御協力のほどよろしくお願いいたします。

支部総会に現場職員を派遣します。ご要望がありましたら、事務局までご相談ください。

## 日本獣医師会 獣医学術学会年次大会 —神奈川— 角笛会同窓会開催のご案内

日 時：平成31年2月8日(金)18:30～(受付18:00)

場 所：新横浜グレイスホテル 4F サフィア

〔JR横浜線・横浜市営地下鉄・東海道新幹線「新横浜駅」下車1分  
神奈川県横浜市港北区新横浜3-6-15 TEL:045-474-5111(代表)〕

会 費：7,000円

振込口座：ゆうちょ銀行 総合(記号)10220(番号)15022931

神奈川県角笛会 あて

参加：参加希望者は事務局へご連絡の上、1月20日までに  
会費の事前振込みをお願いします。

角笛会神奈川県支部 問合せ先

支部長 北澤浩一(昭和54年卒)

TEL:0463-21-1517

事務局 清水敦志(平成7年卒)

TEL:0465-21-3351/FAX:0465-21-3361

E-mail: info@miyuki-ah.jp

多くの同窓生皆さまのご参加を  
お待ちしております

**日本大学生物資源科学部獣医学科教員** (敬称略 H30.4.1現在) 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866  
 電話番号：0466-84-直通番号

**【獣医解剖学研究室】** 6号館 教授 五味 浩司  
 准教授 安井 禎

**【獣医病理学研究室】** 6号館 教授 渋谷 久  
 専任講師 近藤 広孝

**【獣医薬理学研究室】** 6号館 教授 山崎 純  
 専任講師 齋藤 光芳

**【獣医微生物学研究室】** 6号館 教授 遠矢 幸伸  
 助手 木庭 獺達

**【獣医生理学研究室】** 6号館 教授 金山 喜一

**【獣医病態生理学研究室】** 6号館 教授 鯉江 洋

**【獣医生化学研究室】** 6号館 教授 杉谷 博士  
 専任講師 岡林 堅

**【分子生物学研究室】** 6号館 専任講師 成田 貴則

**【医動物学研究室】** 6号館 准教授 松本 淳  
 助手 増田 絢

**【獣医臨床繁殖学研究室】** 動物医科学研究センター  
 教授 堀北 哲也  
 6号館 特任教授 津曲 茂久  
 9号館 准教授 大滝 忠利

**【獣医外科学研究室】** 9号館 教授 浅野 和之  
 准教授 枝村 一弥  
 専任講師 関 真美子

**【獣医臨床病理学研究室】** 9号館 教授 鎌田 寛  
 准教授 加納 塁  
 専任講師 丸山 治彦

**【獣医内科学研究室】** 9号館 教授 亘 敏広  
 准教授 坂井 学  
 専任講師 岡西 広樹  
 病院 専任講師 菅野 信之

**【獣医放射線学研究室】** 9号館 教授 中山 智宏  
 専任講師 高橋 朋子

**【獣医衛生学研究室】** 動物医科学研究センター  
 教授 伊藤 琢也  
 専任講師 鈴木 由紀

**【魚病/比較免疫学研究室】** 動物医科学研究センター  
 教授 森友 忠昭  
 助教 片倉 文彦

**【獣医伝染病学研究室】** 動物医科学研究センター  
 教授 泉對 博  
 准教授 小熊 圭祐

**【実験動物学研究室】** 動物医科学研究センター  
 教授 佐藤 雪太  
 助教 越後谷裕介

**【獣医公衆衛生学研究室】** 動物医科学研究センター  
 教授 丸山 総一  
 助教 佐藤 真伍

**【獣医食品衛生学研究室】** 動物医科学研究センター  
 教授 壁谷 英則

**【獣医麻酔・呼吸器学研究室】** 病院 教授 山谷 吉樹  
 専任講師 手島 健次

**【獣医神経病学研究室】** 病院 教授 北川 勝人  
 専任講師 伊藤 大介

**【獣医産業動物臨床学研究室】** 9号館 専任講師 住吉 俊亮  
 動物医科学研究センター  
 助教 大野真美子

## 学会関連記事

### 第57回日本大学獣医学会開催案内

- 日 時：2019年6月頃（予定）
- 場 所：未 定
- 問 合 せ：事務局

**事務局** 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866  
 日本大学生物資源科学部  
 獣医衛生学研究室（伊藤 琢也）  
 TEL. 0466-84-3375  
 E-mail : itou.takuya@nihon-u.ac.jp

\* 角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄り下さい。

ホームページアドレス  
<http://www.tsunobue.org/>



### 編集後記

角笛会は各支部によって構成されております。事務局としては、ぜひ各支部を盛り上げていきたいと思っています。ご存知の方も多いと思いますが、支部総会に事務局負担で獣医学科教員を派遣しております。「大学の近況」について講演することが多いのですが、「小動物臨床のセミナーが聞きたい。」「最新の研究の話が聞きたい。」「地元出身の先生と話したい。」など要望があれば、適切な教員を派遣するよう出来る限りの対応をします。遠慮することなく、ぜひご相談ください。角笛会会報にご意見、ご希望等ございましたら、岡林(okabayashi.ken@nihon-u.ac.jp)もしくは、角笛会事務局(tsuno-3@brs.nihon-u.ac.jp)までご連絡ください。今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。  
 平成30年11月 岡林 堅（平成13年卒）